

飛鳥資料館秋期特別展のご紹介

「まぼろしの唐代精華－黄冶唐三彩窯の考古新発見－」

平成20年10月17日（金）～12月7日（日）

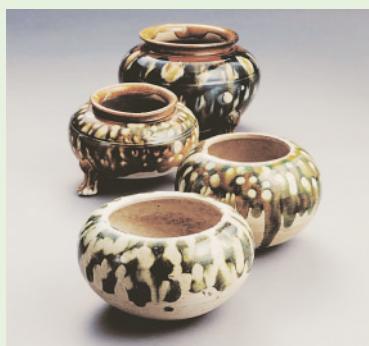
飛鳥資料館では、今秋「まぼろしの唐代精華－黄冶唐三彩窯の考古新発見－」展を中国河南省文物管理局と共同して開催します。

唐墓から出土する華麗な優品で知られる唐三彩。しかし、そこには未解決の問題がたくさん残されています。このため、奈良文化財研究所は2000年度より、総面積約16万m²という中国屈指の唐三彩窯跡、河南省鞏義黄冶窯を対象とした「鞏義市黄冶唐三彩窯及び產品に関する共同研究」を中国の河南省文物考古研究所と進めています。この共同研究は、まだ謎の多い唐三彩の歴史、生産技術、流通、使用、さらには最近注目されるようになってきた唐代の青花瓷器の実態などを解明する上で不可欠なものとの評価を受け、国内外の研究者から熱い視線が投げかけられています。今回の展覧会は、その注目の国際共同研究の最新成果を皆様に広くわかりやすく公開するものです。

さて、今回の展示の見どころは、なんといって

も唐三彩をはじめとする黄冶窯産の各種瓷器です。また、通常の唐三彩の展覧会では展示しないような三彩未成品や各種の窯道具も陳列します。さらに、黄冶窯にほど近い鞏義北窯湾唐墓群から出土した各種瓷器類の優品も目を引きます。出土した地点や構造、層位が明確な、これら94点にものぼる資料を展示することで、唐三彩を含む黄冶窯産の瓷器類の実態や時間的な変化を具体的に示します。このほか、日本国内出土の唐三彩も展示し、唐境外での唐三彩のひろがりについて考察します。

秋だけなわの飛鳥にお越しになっていただき、唐代文化の精華というべき唐三彩を堪能していただければ幸いです。（飛鳥資料館 加藤 真二）



展示品の一部（黄冶窯出土唐三彩）

記録

埋蔵文化財担当者研修

○文化財写真Ⅰ（基礎）課程

平成20年7月7日～23日 9名

○文化財写真Ⅱ（応用）課程

平成20年7月23日～8月6日 6名

発掘現場公開

○飛鳥藤原第153次調査「藤原宮朝堂院朝庭部」

平成20年6月30日（月）～7月2日（水）
965名

平城宮跡資料館展示

○発掘速報展

「平城宮跡東方官衙地区の調査（平城第429次）」

平成20年7月1日（火）～8月31日（日）

飛鳥資料館展示

○夏期企画展「飛鳥古寺巡礼」

平成20年8月1日（金）～8月31日（日）

平城宮跡歴史文化講座（第6回）

（NPO平城宮跡サポートネットワーク主催）

平成20年9月20日（土）午後1時30分～

於：平城宮跡資料館講堂

「平城京から長岡・平安京へ」

館野 和己 奈良女子大学教授

お知らせ

公開講演会（第103回）於：平城宮跡資料館講堂

平成20年10月25日（土）午後1時30分～

「平城宮とその周辺の先史時代」

森川 実 都城発掘調査部研究員

「洋風庭園と日本近代」

栗野 隆 文化遺産部研究員

平城宮跡資料館 特別企画展

○展示

「地下の正倉院展－長屋王家木簡の世界－」

平成20年10月21日（火）～11月30日（日）

飛鳥資料館 秋期特別展

○展示（上記「飛鳥資料館秋期特別展のご紹介」参照）

○記念講演会 於：平城宮跡資料館講堂

平成20年10月18日（土）午後10時～午後4時

「飛鳥資料館特別展記念 中国河南黄冶唐三彩窯の考古新発見」

翼 淳一郎 京都橘大学教授

孫 新民 河南省文物考古研究所所長

劉 蘭華 中国文化遺産研究院研究員

郭 木森 河南省文物考古研究所研究員

編集「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.jp/>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2008年9月